

## 国語教育講座 有馬 義貴 准教授



## 日本古典文学と古典教育に関する研究



キーワード 古典文学/ 古典教育/ 平安時代/ 物語文学/ 享受・継承・発展/

## どのような研究をなぜ行っているか

小・中・高等学校における古典教育の意義はしばしば問題にされるものですが、その議論は長きにわたって堂々巡りをしているように思われます。その原因を突き止め、古典教育の意義やあり方を究明することを一つの目的として、古典文学について専門的に学んでいます。主な対象としているのは、従来の古典教育で中心的に扱われてきた平安時代の文学作品です。とりわけ『竹取物語』『伊勢物語』『源氏物語』等の物語文学作品について、次のような関心をもっています。

- ・どのような表現方法がとられているか
- ・どのような構造になっているか
- ・どのような背景のもとに成立したのか
- ・他の作品とどのような影響関係にあるのか
- ・成立当時、また、後代（現代を含む）において、どのように読まれていた（いる）のか

## 研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

日本古典文学研究の成果をもとに、古典教育の意義やあり方を検討することによって、学校教育・社会教育の質の向上に貢献できるものと思われます。奈良教育大学において小・中・高等学校の教員養成に従事していますが、それ以外にも、教員研修やカルチャーセンター・オープンカレッジ等の講座などが主な社会貢献活動の場として考えられます。

## これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・京西公民館「女性セミナー」（「『竹取物語』と奈良」）講師〈2022〉
- ・中古文学会秋季大会シンポジウム  
「これからの古典教育を考える」コーディネーター・司会〈2020〉
- ・流通経済大学・松戸市教育委員会連携「市民大学講座」  
（「『更級日記』の世界—上総国（千葉県市原市）から上洛千年紀—」全3回の第2回  
「作り物語と『更級日記』—物語作家の日記という観点から—」）講師〈2019〉
- ・奈良シニア大学「一般教養講座」  
（「ひろがりゆく『源氏物語』の世界—増殖するエピソード—」）講師〈2018〉
- ・越谷市立図書館「市制60周年記念 平成30年度 日本古典文学鑑賞講座 特別講演」  
（「『源氏物語』の成立過程—ひろがりゆく物語世界—」）講師〈2018〉
- ・奈良県立教育研究所「国語科の授業づくり研修講座／中堅教諭等資質向上研修講座」  
（「言語文化の担い手を育成する古典指導」）講師〈2017〉
- ・奈良教育大学「教職員のための夏の公開講座」  
（「平安時代の物語文学の性格」）講師〈2015〉

など